

## 議事録

会議等の名称	第 1 回東御市病院等運営協議会	開催日時	令和 4 年 6 月 27 日 13 時～14 時 15 分
		場 所	東御市民病院 2 階研修室
主催者(事務局)	東御市民病院	司会者	岩下事務長
出席者	<p>○委員 武藤会長、安保副会長、清水委員、横江委員、窪田委員、高木委員、酒井委員 宮下委員、原澤委員</p> <p>○市(事務局) 花岡市長、田丸副市長、岩橋院長、新納副院長、齋藤診療所長、黒澤助産所長 岩下事務長、柳澤医療事務部長、大塚庶務係長、渡辺医事係長</p>		
欠席者	佐々木委員		
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)	
委員の委嘱		花岡市長から委嘱書の交付	
開会	安保副会長		
会長あいさつ	武藤会長		
市長あいさつ	花岡市長		
報告事項  (1) 令和 3 年度病院事業の実施状況について	安保副会長	別表 2 の職員数の医師の人数について、病院玄関に表示されている医師の人数と相違するがなぜか。	
	事務局	別表については、当院職員の医師数となっています。病院玄関に表示の医師には、非常勤医師も含まれているためです。	
	高木委員	ラインによるオンライン診療システムの利用実績がないとのことだが、今後どうされるのか。 救急車受入れの実態はどうなっているか。	
	院長	オンライン診療システムを導入した件は、現在、ホームページでお知らせしていますが、掲載方法につきましては検討いたします。 救急車の受入れは現在、休日も含め 24 時間体制をとっています。上田小県は救急受入れが困難な地域とされるなか、当院では救急の受入れを増やしています。当院で受入れできる救急は、軽症から中等症までのため、中には治療が難しく転院搬送というケースもあります。	
	高木委員	受入れ時点で判断しているということか。	
	院長	救急隊には事前に宿日直の勤務医師の情報を伝えてありますので、救急隊の方でのトリアージがあるはずですので。中には当院に搬送され症状を確認したところ、他院の方がよいと判断した場合には、救急隊に転院を対応いただくこともあります。	

報告事項  (2) 令和4年度病院事業の方針について	酒井委員	市民病院で新型コロナウイルス感染症患者を診ていただいていることに非常に感謝している。 新型コロナウイルス感染症対策により、国から多くの補助金等がきているが、今後は減ると思うのであまりあてにしないほうがよいと考える。現在は新型コロナワクチン接種の予約状況も4割ほどと、ワクチン接種に疲れてきている状況。
	清水委員	医師の評価制度を導入したとのことだが、誰がどのように評価しているのか。患者からの評価は。
	院長	患者からの評価はありませんが、患者に最も近い看護師等の評価が入ります。
	武藤会長	医学生への奨学金貸付について、奨学生となっていた方たちとの交流の機会を設けていただくことを検討願いたい。また、勉強するための図書類の充実が必要なことから、図書委員会の設置などを幹部会議等で議論いただきたい。褥瘡については、倉澤先生が亜鉛欠乏症の本を書かれ、大変な評価を受けているので、倉澤先生に協力いただき、職員の勉強会等を開催してはどうか。
市長からの諮問	花岡市長	諮問書朗読し、会長へ手渡し（市長退席）
審議事項  (1) 東御市病院事業第3次経営改善計画の進捗評価について	武藤会長	標語（評価）の決定について投票によることを提案 委員了承
	事務局	投票結果報告（「A」2名、「B」7名）
	武藤会長	9名中、「B」が7名ということで、当協議会としては「B 概ね順調」という評価としたいがよろしいか。（全委員了承） 付帯意見として、 1 医師の増員をはじめとする診療体制の充実・強化を一層進められたい。 2 市民・地域への広報活動の拡充を図られたい。 3 次世代人材との交流の機会の増大と充実を進められたい。 の3点としたいが、補正・追加等あるか。 （補正等意見なし。全委員了承） 事務局へ答申書作成を指示
答申	武藤会長	（市長入室） 答申書朗読し、市長へ手渡し
閉会	安保副会長	